



院長就任の挨拶

たはら こう
院長 田原 浩



2024年4月1日付で院長を拝命しましたのでご挨拶を申し上げます。

私は1997年4月外科医として当院に赴任し、多くの患者さんの手術を担当させていただきました。この間手術術式も劇的に変化しました。おなかを開ける開腹手術から腹腔鏡カメラを用いる腹腔鏡手術へ移行し、そして手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入されるという時代の流れを目の当たりにしました。また5年前からは診療部長、2年前からは副院長として、手術以外の貴重な仕事も経験させていただきました。この4月で赴任28年目を迎えます。

呉共済病院は、かつて軍港都市であった呉市において、呉海軍工廠の職工さんとそのご家族のために1904年に設立された病院です。第二次世界大戦後は一般の方々に対して門戸を開き、質の高い医療を提供して参りました。今年が病院の創立120周年に当たります。病床数は397床で、32診療科を有し、地域医療支援病院、広島県指定がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、広島DMAT指定病院等の指定を受け、地域医療に貢献しています。市民の皆様からは「共済」と親しみを込めて呼んでいただいています。

私たち職員の気持ちは、呉共済病院のキャッチコピーである「まもりたい、あなたの明日と地域の医療。」のとおりです。最も守りたいものは、「あなた」である患者さんの命や「地域」の住民の皆様のご健康です。院長としては、さらに病院で働く職員や病院そのものも守ります。働き方改革が進行中ですので、職員の過重労働を防ぎながら、高度で良質な医療を提供したいと思います。地域の皆様には、医師との面談を勤務時間内に調整していただくなど、呉地区の医療体制を守るためにご協力いただければ幸いです。

少子高齢化が進み、厳しい医療情勢ですが、817名の職員の力を結集した「オール呉共済」体制で、乗り越えていきたいと思っております。呉共済病院に変わらぬご支援をお願いいたします。





新任医師の紹介

はじめまして

病理診断科

せんたに かずひろ
仙谷 和弘

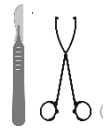


専門:病理診断科

4月より病理診断科に赴任いたしました。呉の患者さんや医療に貢献できるよう尽力いたしますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

消化器外科

さいとう やすふみ
齊藤 保文



専門:消化器外科

大腸や肛門疾患を専門としています。患者さんの負担の少ない低侵襲な手術を心掛け、地域医療に貢献できるよう努めます。

呼吸器内科

やまだ たかひろ
山田 貴弘



専門:呼吸器内科

4月より呼吸器内科に着任しました。わかりやすい説明を心がけ、地域の皆様の健康に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

整形外科

おのうえ よしなお
尾上 慶尚



専門:整形外科

初めまして、整形外科の尾上です。広島県での勤務は初めてで楽しみ半分緊張半分ですが、しっかりと学び呉の医療に貢献できるよう努めて参ります。よろしくお願い致します。

腎臓内科

おかもと
岡本 まどか



専門:腎臓内科

4月より腎臓内科に赴任致しました。患者様に寄り添い、地域の医療に貢献できるように尽力いたします。よろしくお願い致します。

脳神経外科

ふじい けんたろう
藤井 謙太郎



専門:脳神経外科

2024年4月より、脳神経外科に着任いたしました。呉の皆様の役に立てるよう、精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

消化器内科

たむら ようすけ
田村 陽介



専門:消化器内科

4月より消化器内科に赴任しました。呉地区の医療に貢献できるよう頑張る所存です。よろしくお願いします。

消化器内科

すみおか あきひこ
隅岡 昭彦



専門:消化器内科

4月より消化器内科に着任いたしました。丁寧な診察・説明を心がけ、呉の医療に貢献できるよう精一杯努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

循環器内科

くりもと げんき
栗本 元輝



専門:循環器内科

循環器内科の栗本元輝と申します。呉の医療に少しでも貢献できるよう精一杯務めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

腎臓内科

わたなべ はじめ
渡邊 孟



専門:腎臓内科

4月より腎臓内科に赴任いたしました。呉の地域の皆様の健康に少しでも貢献できるように、精一杯努めて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

臨床研修医紹介

総合診療科 河井弘晃 岸槌雄太郎 石井貴大 面沢晃一郎 舟崎 巧
牧嶋大輔 松川力嗣 宮本愛唯 山口 玲 渡辺 輝
歯科口腔外科 藤井南菜子



炎症性腸疾患 (IBD) チームを紹介します!



炎症性腸疾患 (IBD : inflammatory bowel disease) は、潰瘍性大腸炎、クローン病、ベーチェット病などがあります。

近年、患者数は増加傾向にあり、珍しい病気から身近な病気になりつつあります。当院では、2021年からIBDチームを結成し、診療に力を入れ、現在約260人の患者さんが通院しています。

IBDは比較的若年発症する慢性疾患で、病気のことだけではなく、進学・就職・妊娠・出産などの社会生活に対して不安を抱えていることも多く、実際に様々な相談を受けます。また、治療の進歩はめざましく、新薬が続々登場しており、治療選択が複雑化しています。そんな中、安心して治療を継続することができるように、多職種がチームで患者さんをサポートしています。

\\ 患者さんを一丸となってサポートする //

チームメンバー



IBD 専門医師

IBD チームメンバーと連携をとることによって、病気や治療の理解や社会生活の不安に対して、サポートできる体制づくりをしています。



管理栄養士

入院中の栄養管理、退院後の症状の改善や再発予防のための食生活の面で、関わらせて頂いています。



消化器内科看護師
(外来・入院・内視鏡室)

病気に対する不安や就労の悩みなど、何でもご相談下さい。



医療ソーシャルワーカー

職場に病気の事を理解してもらえるように仕事と治療の両立に向けて取り組んでいます。



患者さん・ご家族



薬剤師

薬の働きと継続の必要性について説明し、薬についての全般的なサポートをしています。



事務員

IBD チーム活動を院内に周知するよう取り組んでいます。



臨床検査技師

大腸・小腸などをエコーで観察し、病勢把握・治療効果判定に役立つようサポートしています。



臨床工学技士

血液浄化センターにて、看護師と協力して血球成分除去療法を行っています。安全に留意し実施しています。



「ダビンチ」による ロボット支援下手術を行っています

当院では、昨年末に手術支援ロボット *da Vinci Xi* を導入し、4月より泌尿器科において、骨盤臓器脱に対するロボット支援下手術を実施しています。

今後は、前立腺がん、肺がん、大腸がん、膵がんなどにも拡大予定です。



女性医師による 女性泌尿器外来 はじめました

泌尿器科は男性が受診するものというイメージが強く、相談しづらいという方も…。しかし、排尿に関するトラブルは女性にとっても重要な問題です。

当院では4月より、女性が気兼ねなく相談できるよう、女性医師による女性のための泌尿器外来を開始しました。

扱う主な疾患は、骨盤臓器脱（膀胱瘤、子宮脱）、尿失禁、過活動膀胱、間質性膀胱炎など。

ひとりで悩まず、ご相談下さい。

診察日	予約制
曜日	第2・第4週 水曜
時間	午後2時30分～

担当医

ありち なおこ
有地 直子

専門 女性泌尿器疾患

■お問合せは **泌尿器科** 0823-22-2111(代表)

※お電話は平日 午後3時以降をお願いします。

心臓リハビリチーム



なお、当院の【公式 YouTube】では、管理栄養士（沖野）による栄養指導「糖尿病の食事療法」をはじめ、理学療法士による自宅でできる体操など動画を多数配信中です。ぜひ、ご覧下さい！

管理栄養士、日本循環器学会地方会
において優秀演題賞を受賞

心臓リハビリチームのメンバーである管理栄養士（沖野）は、循環器病棟の担当栄養士として、日頃より患者さんにあわせた栄養指導を行っています。この度、心不全患者さんへの栄養介入効果についての研究発表で、優秀演題賞を受賞しました。

今後もチームメンバーと共に、栄養サポートを通して、患者さんに寄り添った医療の提供に貢献して参ります。

SNS を利用して、役立つ情報の発信や安心して受診して頂くための取り組みを行っています。

呉共済病院
ホームページ

ホームページアドレス (URL) 変更しました

■ホームページ URL

(変更前) <https://www.kure-kyosai.jp>

(変更後) <https://kure-kyosai.kkr.or.jp>

呉共済病院
公式 YouTube



呉共済病院
公式 LINE

